

放生津だより

ポッポとクック

第 5 号
令和4年9月15日



2学期が始まり、半月ほど経ちました。子供たちは、徐々に学校生活のリズムも取り戻し、落ち着いて過ごしています。また、「こんなことに挑戦したい」という思いや願いをもって「レッツチャレンジ」の精神で頑張っています。今後も、子供たちの思いを支え、達成できるよう、全教職員で力を合わせて取り組んでまいります。

2学期も、様々な行事が目白押しですが、感染症対策を取りながら進めていきます。既に、「地震・津波避難訓練」に「5・6年生の能登青少年交流の家での宿泊学習」「3・4年生の海洋教室」が無事終了しました。子供たちは、わくわくしながら、初めての体験や新しい発見に目を輝かせていました。各行事の参加にあたり、ご家庭での感染予防や感染対策にご協力いただきありがとうございました。

どうぞ今後とも、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

それぞれに チャレンジ! パート3

1年生 「生活科：大根の種まき」(9/12)



地域の先生(石黒さん、林さん、姫野さん、四日さん)をお迎えし、大根とかぶの種をまきました。「大きく育てね」と心をこめて水やりもしました。

2年生 「生活科：町探検」(9/13)



地域のよさを見つけに「町たんけん」がスタートしました。第1回目は、中新湊通り～立町通り～川の駅～内川沿いを五感を働かせながら調べました。

3/4年生 「海王丸での海洋教室」(9/13)



海王丸パークまで、万葉線電車と徒歩で行き、海王丸での海洋教室に参加しました。海洋教室では、前半3年生は船内探検に舵輪回し、4年生はマストのぼりを体験しました。後半は、海や船の話聞いた後、手旗訓練と結索訓練を行い、修了書を受け取りました。海や船に親しむことができたようです。

5/6年生 「能登青少年交流の家での宿泊学習」(9/6～9/7)



3年ぶりに宿泊学習を実施しました。子供たちにとっては、初めての1泊2日の宿泊学習でした。集団として、規律を守り楽しみながら、学校では経験することのできない様々な体験活動をしてきました。

- ①能登島ガラス美術館での絵付け
- ②アーチェリー、カヌー
- ③キャンドルサービス、肝試し
- ④オリエンテーリング 等

学校教育に関するアンケート結果について(1学期末実施)

1学期末に行わせていただいた「学校教育に関するアンケート」の結果を報告します。お忙しい中、ご回答いただきましたことに深く感謝いたします。本アンケートの結果やいただいたご意見等を謙虚に受け止め、今学期以降の教育活動に生かしてまいりたいと思います。

4段階評価で、「そう思う」と、「ややそう思う」を選んだ人の割合を%で表しました。

番号	質問内容	評価結果	補説
1	学校は、学校だよりや学年だより、ホームページ等で、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	99%	
2	学校は、子供が学校行事(学習参観・運動会・校外学習)等を通して成長することができるよう工夫している。	99%	
3	学校は、子供のことについて気軽に相談できる雰囲気がある。	91%	
4	学校は、子供たちに目標や目当てをもたせて粘り強く取り組めるよう、励ましたり声かけをしたりするよう努めている。	96%	
5	学校は、子供たちのよいところを見つけて認め励ますように努めている。	97%	
6	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	95%	
7	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん、メディアルールの遵守等、基本的な生活習慣が身に付いている。	77%	※①
8	お子さんは、健康な体づくりを目指して運動や遊びに積極的に取り組んでいる。	93%	
9	お子さんは、思いやりのある親切な行いや言葉遣いをしている。	87%	
10	お子さんは、自分から明るく元気い家族や地域の方に挨拶をしている。	82%	※②
11	お子さんは、家の手伝いをしたり、地域の行事に進んで参加したりしている。	80%	
12	お子さんは、学習したことが身に付いている。	76%	※③
13	お子さんは、毎日、学年かける10分間の家庭学習に取り組んでいる。	72%	※④
14	お子さんは、学校や家庭でよく本を読んでいる。	53%	※⑤

※補説及び改善への方策

- ① 子供自ら「メディアと上手に付き合おう」という思いにつながる取組が必要であると考え、2学期は、視点を変えて生活リズムの改善(特に「早寝」)にスポットをあて、重点的に取り組み、メディア時間との相互作用をもたらしたいと考えています。
- ② 子供の挨拶への意識は、徐々に高くなってきています。学校では、「あいさつステップ表」を用いた日常的な指導に加え、生活安全委員会主催の「あいさつ運動」、「あいさつ達成度調べ」等の挨拶推進活動に力を注ぎ、進んで挨拶できる習慣付けを図っていきたくと考えています。
- ③④ 復習時間をしっかりと取り、基礎・基本の定着を図っていきます。また、学習したことが身に付くよう、家庭学習の課題の出し方を工夫したり、調べ学習を取り入れたりと家庭学習の質と量の確保につなげたいと考えています。
- ⑤ 今後も「ファミリー読書」「家読」を推進します。学校では、読書習慣が身に付くよう図書室の貸出目標冊数を決め、達成者の掲示をしたり、すぐに読みたい本が手に取ることができるよう、学級文庫の充実を図ったりしています。11月には、校内読書週間を行い、読書する機会を増やしたいと考えています。